

第 17 回全国大会開催にあたって

大会テーマ 「情報科教育と高大接続」

高等学校では 2022 年度から「情報 I」が共通必修科目となり、2023 年度から「情報 II」が一部の高等学校で開始されています。また 2025 年度大学入学者選抜における大学入学共通テストでは「情報」が出題される予定となっており、高等学校ではこれも視野に入れた実践的な「情報 I」「情報 II」の教育手法を検討しながら、質の高い取り組みを実践し、継続的な発展へと繋げていく必要があります。本学会でも第 16 回の全国大会にて、情報科教育の実践上の課題とその解決方法をテーマに日頃の実践事例の共有を進めてきました。また大学では「情報 I」「情報 II」の情報科課程の中で学んできた学生を、大学の基礎教育・専門教育の課程での学びにどのように繋げていくか、課題について議論を進め、実践に繋げていく必要があります。

こうした流れの中で本大会は、昨年度に引き続いて「情報 I」「情報 II」の取り組みと、さらに高大接続に向けた取り組みを対象に、課題とその解決をテーマとして開催します。高校現場における「情報 I」「情報 II」の取り組み、大学現場における情報基礎教育の取り組みの共有を図り、学校段階のトランジションやカリキュラムのアラインメントについて検討し、今後の展開につなげる機会とします。高等学校・大学を問わない情報教育、カリキュラム・マネジメントに関わる実践事例と知見の共有を図り、これに基づく高大連携についての議論の機会とします。

日本情報科教育学会 全国大会委員会

委員長 小松川浩(公立千歳科学技術大学)

2024 年 7 月 6 日